

大項目	小項目	機能概要	必須	備考
全般・管理	基本仕様	管理画面（職員側）及び申請画面（職員側）が、Microsoft Edgeに対応していること。	○	
		住民が申請したデータはサーバー上にのみデータが保存され、クライアント側にはデータが残らない仕組みであること。	○	
		タッチ操作で入力・回答できること。	○	
	ワンストップ窓口に係る基本機能	異動や結婚、出産、死亡などのライフイベントごとに、登録された設問を端末の画面に表示し、その回答内容に基づき必要な手続を洗い出す機能を有すること。	○	
		洗い出された手続を列挙した手続案内票を作成し、印刷する機能を有すること。	○	
		手続案内票に、属性情報や申請情報等を復元可能なQRコードを印刷し、その読み取りにより他の窓口で手続を引き継ぐ機能を有すること。	○	
	書かない窓口に係る基本機能	端末にて入力された申請情報や設問への回答を、あらかじめ取り込んだ申請書に反映し、印刷する機能を有すること。	○	
		洗い出された手続が複数である場合、同一情報については一回の入力・回答により、各申請書に反映できること。	○	
	事前申請に係る基本機能	庁内に設置したタブレットにて、市民が自ら入力・回答し必要な手続の洗い出しや申請情報の事前入力すること（事前申請）ができること。	○	
		市民が所有するスマートフォン等から事前申請を行う機能を有すること、またはその機能を利用するための拡張性を有すること。	○	
		事前申請された情報を復元可能なQRコード等を生成し、その読み取りにより情報を引き継げること。	○	
	アカウント管理	職員単位にログインIDを割り振れること。	○	
		職員が所属する部署情報を管理可能なこと。	○	
		部署又は個人単位でシステムの利用権限を設定可能なこと。	○	
		システム管理者による職員の属性情報編集やパスワード変更等が可能なこと。	○	
	ログイン	ログインID・パスワードで利用者認証が可能なこと。	○	
	ポータル	体系別にメニューが表示され、申請状況、簡易な統計情報等が表示できるポータル画面を有していること。	○	
		ポータル画面に職員向けの連絡事項等を表示させることが可能なこと。	○	

大項目	小項目	機能概要	必須	備考
窓口画面 (住民側)	手続の洗い出し	市民の回答内容に応じて設問の表示非表示の切り替えが可能であること。	○	
		同一のライフイベント・申請について、職員入力用・事前申請用など用途ごとに設問を設定することができること（同一とすることもできること）。	○	
	入力・申請	手続の洗い出しを経由しない単独の手続についても、申請情報の入力・反映・申請書印刷など申請書作成支援や事前申請に係る機能が利用できること。	○	
		マイナンバーカード等の利用者証明用電子申請書を活用して、本人確認が行えること。		
		マイナンバーカードのICチップに格納された券面事項情報を呼び出し、申請フォームに反映できること。	○	
		マイナンバーカードや運転免許証、在留カードなど本人確認書類に記載された券面記載事項をスキャナ等で読み取り、申請フォームに反映できること。 ※対応可能なカードを備考欄に記入すること。	○	
		市が保有する住民情報系システム等の情報を参照し、申請フォームに反映できること。		
		本人確認書類の読み取り等により取得した情報の補正および申請情報の追加入力ができること。	○	
		郵便番号検索による住所入力補助機能を有すること。	○	
		住所入力において、記入・選択された町名に応じて、番地・住居表示の入力形式が提案されること、または選択できること。		
		申請日、異動日、生年月日等の初期表示を設定できること。		
		生年月日から学年を算出する、本日日付との差から年齢を算出するなど、すでに入力・回答した内容等から他の入力項目・回答等を自動計算・自動判定し、当該項目に反映する機能を有すること。		
		必須事項をすべて入力しなければ、次の画面へ進めないこと。		
		未回答項目のハイライトや該当ページへのスキップなど、未回答項目の発見・検索を支援する機能を有すること。		
		文字列の入力は手書き入力、50音の入力パネル、ローマ字入力など複数の入力方式に対応していること。		

大項目	小項目	機能概要	必須	備考
管理画面 (職員側)		数値入力時に、画面にテンキー表示が可能なこと。		
		多言語対応していること。		
		※対応可能な日本語以外の言語を備考欄に記入すること。		
		電子サイン（署名）に対応していること。		
	手続の洗い出し	手続を洗い出すための設問を、Excelシートのインポートなど専門的知識を必要としない方法により、職員が自由に設定可能なこと。	○	
		設問の回答内容に応じて他の設問の表示非表示を可変で表示する、条件分岐機能を有すること。	○	
		手続案内票に、採番した受付番号を印刷できること。		
		手続案内票に、手続の名称と併せて、所管課の名称・場所、必要な持ち物のほか任意の文字等を印刷できること。	○	
	手続管理	登録可能な手続数に制限がないこと。	○	
		職員の操作により、各手続の申請フォームの登録、編集及び削除等が可能であること。	○	
		現行の様式を取り込み、申請書として利用できること。	○	
		各手続の申請フォームの作成、申請項目と申請書との紐付けなどのメンテナンス作業について、専門的知識がなくとも、入力パーツのドラッグ&ドロップなど直感的な操作で作成可能なUIを備えていること。	○	
		申請書の差し替えにおいては、旧申請書で設定した入力パーツや位置などを引き継げること。	○	
		窓口画面に表示されるメニューについて、階層管理が可能なこと。	○	
		窓口画面に表示されるメニューについて、部署ごとに異なるメニュー画面をデフォルトとして設定できること。	○	
		質問項目ごとに入力ガイド等を設定可能なこと。		
		申請フォームへの入力法は、文字列入力、数値入力、ドロップダウンリスト、ラジオボタン、チェックボックスなど様々な方式から選択できること。 ※対応可能な入力方式を備考欄に記入すること。		
	申請管理	管理画面から申請データを照会できること。	○	
		指定した条件に該当する申請データを抽出し、一覧表示できること。	○	

大項目	小項目	機能概要	必須	備考
		申請内容をCSV形式で出力可能なこと。	○	
		申請毎に受付番号を採番できること。		
		手続の進捗状況を管理できること。手続が未完了のまま中断した場合、その時点から再開できること（複数手続を行う市民に未完了の手続がある場合、該当する手続のみ抽出・対応することが可能であること）。		
		手続案内票の再発行ができること。再発行した手続案内票で、その時点での手続未了・完了が判別できること。	○	
		対応状況や特記事項を入力するメモ機能を有すること。		
	その他	手続ごとの受付件数などの各種統計情報を閲覧・出力できること。	○	